

Sample

—骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015発刊—

新世代の骨粗鬆症治療を熟考する学術講演会

～80歳以上1,000万人時代到来 健康長寿をめざして～

謹啓

時下、先生方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

2015年9月に総務省統計局から「統計から見たわが国の高齢者のすがた」についての発表がありました。その中で80歳以上の人口が初めて1,000万人を超えること、65歳以上の高齢者の人口が総人口に占める割合が26.7%と過去最高を更新と報告されました。

近年「2025年問題」がクローズアップされておりますが、日本の人口動態中の最大集団である団塊の世代(1947～49年生まれ)全員が75歳以上、つまり「後期高齢者」となる年度であり、総人口の4人に1人が75歳以上となる世界のどの国も経験したことのない超高齢化時代を迎えます。その超高齢化社会の到来を見据え、「骨粗鬆症」をテーマに産業医科大学 教授 酒井昭典 先生をお迎えし、「新世代の骨粗鬆症治療を熟考する学術講演会」を開催させて頂くことになりました。ご多用の折りとは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜ります様ご案内申し上げます。

謹白

学術情報

18:45～19:00

「第一三共株式会社」

Opening Remarks

基調講演

座長 弘前大学大学院医学研究科 リハビリテーション医学講座 教授 津田 英一 先生

講演 I

「DXA法における骨密度測定の実際～ガイドライン2015年版を参考に～」

弘前大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門 主任診療放射線技師 楢木 聡 先生

講演 II

「青森県における骨粗鬆症の現状:前腕DXA法による骨密度測定の結果から」

弘前大学大学院医学研究科 整形外科学講座 千葉 大輔 先生

特別講演

座長 弘前大学大学院医学研究科 整形外科学講座 教授 石橋 恭之 先生

「橈骨遠位端骨折からみた骨粗鬆症」

産業医科大学 整形外科 教授 酒井 昭典 先生

Closing Remarks

なお講演会終了後、情報交換会の場をご用意しております。当日ご参加頂いた確認のため、ご施設・ご芳名のご記入をお願い申し上げます。ご記入頂いた施設名・ご芳名は医薬品及び医学・薬学に関する情報提供の為に利用させて頂く事がございます。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

本講演会は日本整形外科学会認定講演会です。日整会単位登録には日整会カードが必要です。

日本整形外科学会専門医資格継続単位(1単位) *1000円が必要になります。

受講必須分野 [4] 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む) [10] 手関節・手疾患(外傷を含む)

運動器リハビリテーション単位(Re)

本講演会の認定単位は、以下の単位を取得しております。

日医生涯教育制度に係る認定講座(合計1単位) カリキュラムコード: 19 身体機能の低下、77 骨粗鬆症

日本薬剤師研修センター集合研修1単位 JPALS 研修会コード02-2015-0145-101

平成28年 **3月3日** 木 18:45～20:45

弘前プラザホテル 2階「ザ・チエルシー」

〒036-8001 青森県弘前市代官町 101-1 TEL 0172-35-0345

主催 第一三共株式会社

後援 弘前市医師会

青森県薬剤師会弘前支部